

令和 6 年度 第 2 回三鷹市スポーツ推進審議会 会議要旨

開催日	令和 6 年 7 月 26 日（金曜日）	時 間	16 : 00～17 : 30
会 場	三鷹市役所第二庁舎 243 号会議室 （オンライン併用）	傍聴人数	0 人
出席者	助友委員、寺田委員、吉田委員、國澤委員、苔口委員、鈴木委員、安中委員、屋敷委員、細川委員、相原委員、溝口委員、大鶴委員		
欠席者	高柳委員、高橋委員		
行 政	河村市長、大朝スポーツと文化部長、平山スポーツと文化部調整担当部長、二浦スポーツ推進課長、福田スポーツ推進課主査、橋本主事		
内 容	1 委嘱式 河村市長から各委員に委嘱 2 正副会長互選 会長 助友委員 副会長 寺田委員 3 市長あいさつ（河村市長） 4 開会あいさつ（助友会長） 5 開会（事務局） (1) 委員出席状況について 委員の出席状況は、委員定数 14 人のうち 12 人の出席により、委員の過半数が出席し、定足数に達していることから、本日のスポーツ推進審議会は有効に成立している。 (2) 傍聴希望について 市民会議、審議会等の傍聴は、「三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、原則として公開している。本日は、現時点で傍聴の希望はないが、希望があった場合、条例に基づき入場いただく。 (3) 会議録の作成と公開について 三鷹市の市民会議、審議会等では、会議録を要録として作成し、公開している。会議の内容を録音し、会議録の原案を出席委員に確認のうえ、市のホームページと総務部相談・情報課にて公開を行う。 6 三鷹市スポーツ推進審議会に係る概要説明 スポーツ推進審議会関連法令等について説明を行った。 7 議題 (1) 三鷹市スポーツ推進計画 2027（仮称）骨格案等について 三鷹市スポーツ推進計画 2027（仮称）骨格案等について以下のとおり報告した。		

内 容	ア 基本理念 『希望あふれるスポーツのまち 三鷹へスポーツを通じた「健康都市づくり」「多様性を尊重する共生社会」をめざして～』とする。 「いつでも、どこでも、だれでも、そしていつまでも」スポーツに親しむ環境を充実し、市民がスポーツを生涯の友にし、心と体がいつまでも健康でいられるよう、ライフステージ、ライフスタイルに応じたスポーツライフの推進による心と体の健康都市づくりに取り組む。また、オリンピック・パラリンピックや各種ワールドカップなどの世界的な大会の開催等を契機に、市民のスポーツへの関心を高めるとともに、ボランティアマインド、障がいの理解、平和の希求、人権の尊重、豊かな国際感覚をもった取り組みの推進等により、多様性を尊重する共生社会の実現をめざす。 イ 基本目標 基本理念を実現するために、以下の３つの目標を掲げ、施策を推進する。 ・スポーツに親しむ環境の充実 ・誰もが目的に応じて楽しめるスポーツライフの推進 ・スポーツを支える人づくりとスポーツを通じたまちづくり 鈴木委員：第５次三鷹市基本計画（１次案）の中で色々な指標を示していただいたが、数字だけだと少し分かりにくいと感じた。調査手段や調査の母数がどうなっているかなども合わせて示してもらえると分かりやすい。 二浦課長：市では、基本計画を改定する際に市民満足度調査（４年に１回）を実施している。直近だと令和４年度に実施した調査になるが、３,５００人に調査票を郵送し、１,５２９人が回答した。今回示した数字については、分かりにくいところもあるかと思うので、令和６年度に新たなスポーツ推進計画を策定する際には、バックデータなどをお示しして、色々なご意見をいただきながらとりまとめたい。 鈴木委員：個別計画は、今までどういう状況なのかを踏まえて策定していくものだと考えている。例えば、実績について男女の違いや年齢の違いなどのデータがあれば、三鷹市としての対策などを考えていけるかと思う。 二浦課長：ご指摘の通り年齢別や男女別のほか、ライフステージ別のデータなどもしっかりと把握しながら、次期個別計画策定に向けて反映していきたい。 寺田委員：第５次三鷹市基本計画（１次案）で示している数値の中に、障がい者などがどれくらい含まれているのか気になった。また、三鷹市スポーツ推進計画 ２０２２ 第１次改定の達成状況について、目標数値を実績が上回った箇所、下回った箇所などあるかと思うが、どのような理由で達成できたのか又はできなかったのかなど背景要因を検証する必要がある。 二浦課長：実績数値の分析などについて現時点では行っていないが、今後お示しできればと思う。 大朝部長：ご指摘いただいた障がい者が含まれる数値などは、担当部署にも確認したいと思う。また、本日公布した資料２「三鷹市スポーツ推進計画 ２０２２ 第１次改定 達成状況等」については、基本計画案の内容を議論いただくときの参考資料として、これまでの推移などを示したものになっている。今
-----	--

内 容	後、個別計画を議論していくときは個別のデータを示して、指標の内容や分析方法等について、この審議会の中でご審議いただきたい。 なお、今の個別計画の指標は、SUBARU総合スポーツセンターのオープンや東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催前に作られた指標であるので、これまでのスポーツ環境の変化を反映させながら、新たに個別計画を策定したいと考えている。 寺田委員：基本計画案に記載のある「障がい者スポーツの普及と障がいに対する理解の推進」の箇所だが、実際に障がいを持っている方の声をヒアリングすると、市としてより良い施策ができるのではないかと感じている。 溝口委員：基本計画案について、スポーツに親しむ環境の整備という目標に対して、施設利用率が上がったという指標でそもそも良いのかという疑問がある。例えば、人口比率に対する施設の充足度はどのようになっているかなど、そのような観点も大切だと感じる。全体的に言えることだが、もう少し分かりやすい指標を設定したうえで評価することが良いと思う。 相原委員：いつでもだれもがスポーツを楽しむ環境を作っていくという点において、体育館など特定の施設だけではなく、最終的には街全体で自然と運動できるような街づくりができたらいいのではないかなと思う。例えば、道路自体に歩幅のペイントをするなど、自然と自分の健康や体に関心を持ってもらえるような仕組みを作ること、結果的に市の体育施設を使ってもらえるようなサイクルができると感じる。そうすれば、子どもから高齢者まで住みやすく運動しやすい街になっていくのではないかと考える。 また、タッタカくんアプリについて、指標としてアプリの登録者数だけでなく、日々どれくらいログイン数があるのか、アプリ起動率はどの程度なのかなども記載すると良いかと思う。 鈴木委員：基本計画案の中に主要事業と KPI・KGI の数値の記載があるが、その内容はもう変更しないという前提で、新たなスポーツ推進計画を考えていくつもりなのか。 大朝部長：今回の基本計画から、過去の基本計画と構造が大きく変わった。以前までは、計画期間が 10 年もしくは 12 年計画であったが、今回からは 4 年の計画期間となっている。また、これまではスポーツの事業が体系的に記載していたが、市長の方針で基本計画の中には 4 年間の中で必ず取り組む主要な事業のみ、市民にも分かりやすく明確に記載することとした。そのため、基本計画に記載されていない内容などは、個別計画に記載するようになるので、今回のスポーツ推進計画策定時においては、スポーツの部分に関して横断的に議論してほしい。 鈴木委員：基本計画案に記載がある KPI や KGI を意識しながら、スポーツ推進計画を定めていくという認識でよろしいか。 大朝部長：今回初めて上位計画である基本計画のボリュームが大幅に少なくなったので、どのような個別計画にするのが良いかこれから議論していくという段階にある。ただ、基本計画が個別計画の上位計画である以上、基本計画の指標を元にしつつ、個別計画ではより深掘りした指標を設定していくことになると考えている。
-----	--

内 容	助友会長：ここまでの議論を踏まえ、2つ提案したい。先ほど指標が分かりづらいとか、この指標のほうが良いのではないかという意見などがあった。KGIであるスポーツ実施率のところが最終ゴールになると思うが、それまでに階層化された複数の指標を設定している。そこで1つ目の提案として、ロジックモデルのように、この階層間の関連性を視覚化して整理することである。これにより、「ある数値が向上したのは、この取り組みのあの成果が良かったからである。」というように、事業の成果の分析がしやすくなる。 2つ目は、事業の進捗について、しっかりと目標を達成できているのかモニタリングを行うべきである。私としては、現行の事務局の職員体制では難しいのではないかと感じるところがあるので、職員体制を強化するか又はアウトソーシングするなどして、ぜひ事業目標に対する進捗管理を行っていただきたい。 二浦課長：今後、基本計画の2次案が確定するので、その段階で委員の皆様にはお示しさせていただきたい。 助友会長：タッタカくんアプリについて、意識的に運動してポイントがある程度貯めないと、地域ポイントとタッタカくんポイントの交換はできないのか。 大朝部長：2024年の1月から地域ポイントとタッタカくんアプリが連携した。まだ連携が始まったばかりなので500タッタカポイントを貯めた人はあまりいないかもしれないが、ポイント連携を記念してアプリ上のスタンプラリーイベントを開催しているので、そのようなアプリイベントをきっかけにしていくといいかなと思う。 相原委員：タッタカくんアプリの内容だが、地域ポイントと連携したということで、登録者数が増える良いタイミングに来たのかなと思う。このようなタイミングで、広告などPRに力を入れて展開していくことが大切かなと感じている。 なお、みたか地域ポイントの加盟店は今後増えていく見込みなのか。 二浦課長：企画経営課が担当部署になるので、そちらで地域ポイントを取りまとめているが、今後も加盟店を増やしていく方向だと認識している。 國澤委員：年代によって、スポーツ実施率はかなり違うのではないかと感じているが、障がいがある方にスポーツをしていただくには、どのような取り組みを行ったら良いのか知りたいと感じている。スポーツ実施率に関して詳しいデータを示していただけると良いと思う。 屋敷委員：障がいのある方のスポーツ実施率の話があったが、東京都では障がいのある方・ない方のスポーツ実施率の調査を行っている。令和4年度は、障がいのある方のスポーツ実施率は35%と、健常者に比べて半分くらいの実施率になっているので、他の自治体でも同じような傾向が見られると推測される。障がいのある方にとっては、ソフト面でもハード面でもスポーツを行うハードルが高いので、オリンピック・パラリンピックのレガシー事業やイベントなどの一過性の事業は色々なところで展開されているが、運動定着やスポーツ実施率に見合うような運動を継続していくために、自治体で習慣的な取り組みをしてもらうことが大切である。 細川委員：基本計画案に記載のある「障がい者スポーツの普及と障がいに対する理
-----	---

内 容	解の推進」の内容が少し言葉足らずではないかと感じた。例えば、自治体と障がい者関連団体が連携して、障がい者スポーツを一般の方と障がいのある方が一緒に行う事業スキームなども構築されようとしている流れがある。障がい者スポーツを障がい者が行う特別なスポーツとして捉えるのではなく、障がい者スポーツを一般化していくことが、障がい者スポーツの普及と障がいに対する理解の推進に繋がっていくと考えるし、パラリンピックを目指す人の目標にもなっていくのではないかと思う。 安中委員：環境関連の取り組みで、ごみ拾いをスポーツとして行うスポ GOMI というものがある。健常者も含めて車いすに乗ってスポ GOMI をするイベントもあるので、三鷹市でもそれができるといいかなと感じている。 苔口委員：スポーツ推進委員を福祉施設に派遣などができたら良いと感じた。 8 報告 (1) 事業予定 8月6日(土) 子ども運動チャレンジ教室 8月11日(日) FC 東京「三鷹の日」 (2) スポーツ推進審議会日程 第3回 令和6年10月25日(金) 第4回 令和7年2月14日(金) ※三鷹市議会の日程により、変更が生じる可能性があります 9 閉会あいさつ(寺田副会長)
-----	--